【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2008-181073(P2008-181073A)
【公開日】平成20年8月7日(2008.8.7)
【年通号数】公開・登録公報2008-031
【出願番号】特願2007-265269(P2007-265269)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｆ　1/37　(2006.01)
Ｈ０１Ｓ　5/14　(2006.01)
Ｈ０１Ｓ　3/109　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13357　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　21/14　(2006.01)
Ｆ２１Ｓ　2/00　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ　101/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｆ　1/37
Ｈ０１Ｓ　5/14
Ｈ０１Ｓ　3/109
Ｇ０２Ｆ　1/13357
Ｇ０３Ｂ　21/14　Ａ
Ｆ２１Ｍ　1/00　Ｍ
Ｆ２１Ｙ　101:02

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月18日(2010.5.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６８】
波長分離膜１４を透過することにより共振器構造内から取り出された第２波長のレーザ光は、第１面１０１ａから光学プリズム１０１へ入射する。第２波長のレーザ光は、第１面１０１ａにおいて屈折する。第１面１０１ａからの第２波長のレーザ光は、第２面１０１ｂへ入射する。第２面１０１ｂで全反射した第２波長のレーザ光は、反射膜１５へ入射する。反射膜１５で反射した第２波長のレーザ光は、第４面１０１ｄへ入射する。第２波長のレーザ光は、第４面１０１ｄにおいて屈折する。第４面１０１ｄから光学プリズム１０１を射出した第２波長のレーザ光は、波長分離膜１４で反射した第１波長の光と略平行に進行する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７１】
第２面１１１ｂは、第１面１１１ａに隣接する面であって、第１面１１１ａに直交する。第３面１１１ｃは、第２面１１１ｂに隣接する面であって、第１面１１１ａに平行である。第３面１１１ｃには、第２波長分離部である第２波長分離膜１１３が設けられている

。第２波長分離膜１１３は、第１波長の光を透過させ、第２波長の光を反射することにより、第１波長分離膜１１２からの第１波長の光と第２波長の光とを分離させる。第４面１１１ｄは、第３面１１１ｃ及び第１面１１１ａの間の面であって、第２面１１１ｂに平行である。光学プリズム１１１は、第１波長分離膜１１２で分離された第２波長のレーザ光を折り返す折り返し部を構成する。光学プリズム１１１の断面構成における一辺Ｌは、例えば３ｍｍである。光学プリズム１１１の屈折率は、例えば１．５２である。